

豊庄だより



第 697 号 2022 年 2 月 14 日

保育園を私の個人的な都合で休んでしまい、697号は3週間ぶりの発行となってしまいました。この間、大きな行事が2つありました。

1つ目は2月1日の「豆まき」です。節分に因んでの行事ですが、今年の節分は2月3日（木）なので（立春の前日）、あえて「豆まき」とよぶようにしました。冬と春の変わり目である節分には邪気が入りやすいと考えられ、鬼を払う行事が生まれたと言われてい

福岡市早良区南庄2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達



豆まき

撮影：白石

と緑色の鬼が2人現れました。まず、1階に登場、それから2階のホールにも。子どもたちは涙を浮かべながらも、手に豆を握りしめ、鬼に立ち向かっていました。

2つ目は、2月の誕生会（2月4日）。新型コロナウイルスの感染拡大により、急遽、誕生者がいるクラス（すみれ、ばら、ゆり組）のみによる開催になってしまいました。保護者の参加もかなわず残念でした。また、私も参加できず、事前にビデオ撮影をして、当日テレビの中から参加しました。

兼好法師は『徒然草』に、四季の情趣については「みな源氏物語、枕草子などにことふりたれど（いうべきことは先達に言い古されているが）」とぼやきながらも、19段に大みそかの夜、疫鬼（えきき）を追い払うために大声をあげて、たいまつを手に市中の門をたたいてまわる描写があり、これが節分の豆まきにつながると述べています。兼好法師は室町時代、源氏物語や枕草子に至っては平安時代です。今から400年近く前にも、人は疫病に苦しんでいたのが分かります。講釈はこれくらいにして、豊庄保育園にも赤色



2月誕生会

撮影：中西

※「豆まき」の『徒然草』については、「天声人語」（朝日新聞朝刊 2022年2月3日）を参考にしました。

※2月誕生会の様子は、ビデオ撮影をしました。誕生者の保護者のみなさんには、Blue Ray、DVDにダビングしてお渡ししましたが、貸し出しもしています。